



ローカルUNIXユーザおよびグループの設定

ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

ローカルUNIXユーザおよびグループの設定	1
ローカルUNIXユーザおよびグループの設定の概要	1
ローカルUNIXユーザを作成する	1
URIからローカルUNIXユーザをロードします。	1
ローカルUNIXグループを作成する	2
ローカルUNIXグループにユーザを追加する	3
URIからローカルUNIXグループをロードする	4

ローカルUNIXユーザおよびグループの設定

ローカルUNIXユーザおよびグループの設定の概要

SVM上で、認証およびネームマッピングにローカルUNIXユーザおよびグループを使用できます。UNIXユーザおよびグループは、手動で作成することも、Uniform Resource Identifier（URI）からUNIXユーザまたはグループを含むファイルをロードすることもできます。

クラスタ内のローカルUNIXユーザグループおよびグループメンバーの合計数に対するデフォルトの上限値は32、768です。クラスタ管理者はこの制限を変更できます。

ローカルUNIXユーザを作成する

コマンドを使用すると、ローカルUNIXユーザを作成できます `vserver services name-service unix-user create`。ローカルUNIXユーザは、SVM上にUNIXネームサービスオプションとして作成し、ネームマッピングの処理で使用するUNIXユーザです。

ステップ

1. ローカルUNIXユーザを作成します。

```
vserver services name-service unix-user create -vserver vserver_name -user user_name -id integer -primary-gid integer -full-name full_name
```

`-user user_name` ユーザ名を指定します。ユーザ名は64文字以内にする必要があります。

`-id integer` 割り当てるユーザIDを指定します。

`-primary-gid integer` プライマリグループIDを指定します。これにより、ユーザがプライマリグループに追加されます。ユーザを作成したあと、手動でユーザを目的の追加グループに追加できます。

例

次のコマンドは、johnmというローカルUNIXユーザ（フルネームは「John Miller」）をvs1というSVM上に作成します。ユーザのIDは123で、プライマリグループIDは100です。

```
node::> vserver services name-service unix-user create -vserver vs1 -user johnm -id 123 -primary-gid 100 -full-name "John Miller"
```

URIからローカルUNIXユーザをロードします。

SVMで個々のローカルUNIXユーザを手動で作成する別の方法として、ローカルUNIXユーザのリストをUniform Resource Identifier（URI；ユニフォームリソース識別子）を使

用(`vserver services name-service unix-user load-from-uri`してSVMにロードすることもできます。

手順

1. ロードするローカル UNIX ユーザのリストが含まれているファイルを作成します。

ファイルには、次のUNIX形式でユーザ情報が含まれている必要があり `etc/passwd` ます。

```
user_name: password: user_ID: group_ID: full_name
```

このコマンドを実行すると、フィールドの値とフィールド(`home_directory`の後のフィールドの値が`full_name`破棄され `password`shell` ます)。`

サポートされる最大ファイルサイズは 2.5MB です。

2. リストに重複した情報が含まれていないことを確認します。

リストに重複したエントリが含まれている場合、リストのロードは失敗し、エラーメッセージが表示されます。

3. ファイルをサーバにコピーします。

サーバには、HTTP、HTTPS、FTP、または FTPS 経由でストレージシステムから到達できる必要があります。

4. ファイルの URI を確認します。

この URI は、ファイルの場所を示すためにストレージシステムに指定するアドレスです。

5. ローカル UNIX ユーザのリストが含まれているファイルを、URI から SVM にロードします。

```
vserver services name-service unix-user load-from-uri -vserver vserver_name  
-uri {ftp|http|ftps|https}://uri -overwrite {true|false}
```

`-overwrite{true false}` は、エントリを上書きするかどうかを指定します。デフォルトは `false`。

例

次のコマンドは、ローカルUNIXユーザのリストを、というURIを使用してvs1というSVM内にロードし `ftp://ftp.example.com/passwd` ます。URI を使用してロードした情報によって SVM 内の既存のユーザが上書きされることはありません。

```
node::> vserver services name-service unix-user load-from-uri -vserver vs1  
-uri ftp://ftp.example.com/passwd -overwrite false
```

ローカルUNIXグループを作成する

コマンドを使用すると、SVMに対してローカルなUNIXグループを作成できます

`vserver services name-service unix-group create`。ローカル UNIX グループはローカル UNIX ユーザとともに使用されます。

ステップ

1. ローカル UNIX グループを作成します。

```
vserver services name-service unix-group create -vserver vserver_name -name group_name -id integer
```

`-name group_name` グループ名を指定します。グループ名は64文字以下にする必要があります。

`-id integer` 割り当てるグループIDを指定します。

例

次のコマンドは、`vs1` という名前の SVM 上に `eng` という名前のローカルグループを作成します。グループIDは101です。

```
vs1::> vserver services name-service unix-group create -vserver vs1 -name eng -id 101
```

ローカルUNIXグループにユーザを追加する

コマンドを使用すると、SVMに対してローカルなUNIXグループにユーザを追加できます
`vserver services name-service unix-group adduser`。

ステップ

1. ローカル UNIX グループにユーザを追加します。

```
vserver services name-service unix-group adduser -vserver vserver_name -name group_name -username user_name
```

`-name group_name` ユーザのプライマリグループに加えて、ユーザを追加するUNIXグループの名前を指定します。

例

次のコマンドは、`vs1` という SVM の `eng` というローカル UNIX グループに、`max` という名前のユーザを追加します。

```
vs1::> vserver services name-service unix-group adduser -vserver vs1 -name eng -username max
```

URIからローカルUNIXグループをロードする

個々のローカルUNIXグループを手動で作成する別の方法として、コマンドを使用して、ローカルUNIXグループのリストをUniform Resource Identifier (URI) からSVMにロードすることができます `vserver services name-service unix-group load-from-uri`。

手順

1. ロードするローカル UNIX グループのリストが含まれているファイルを作成します。

ファイルには、UNIX形式のグループ情報が含まれている必要があり `/etc/group` ます。

```
group_name: password: group_ID: comma_separated_list_of_users
```

このコマンドを実行すると、フィールドの値が破棄され `password` ます。

サポートされる最大ファイルサイズは 1MB です。

グループファイルの 1 行の最大長は、32、768 文字です。

2. リストに重複した情報が含まれていないことを確認します。

重複するエントリがリストに含まれてはいけません。含まれていると、リストのロードに失敗します。SVMにすでにエントリがある場合は、パラメータを `true` 設定して既存のエントリをすべて新しいファイルで上書きするか、新しいファイルに既存のエントリと重複するエントリが一切含まれないようにする必要があります `-overwrite`。

3. ファイルをサーバにコピーします。

サーバには、HTTP、HTTPS、FTP、またはFTPS経由でストレージシステムから到達できる必要があります。

4. ファイルのURIを確認します。

このURIは、ファイルの場所を示すためにストレージシステムに指定するアドレスです。

5. ローカル UNIX グループのリストが含まれているファイルを、URI から SVM にロードします。

```
vserver services name-service unix-group load-from-uri -vserver vserver_name  
-uri {ftp|http|ftps|https}://uri -overwrite {true|false}
```

`-overwrite true false` は、エントリを上書きするかどうかを指定します。デフォルトは `false`。このパラメータを `true` と指定すると、ONTAPは、指定したSVMの既存のローカルUNIXグループデータベース全体を、ロードするファイルのエントリで置き換えます。

例

次のコマンドは、ローカルUNIXグループのリストを、というURIを使用してvs1というSVM内にロードし `ftp://ftp.example.com/group` ます。URI を使用してロードした情報によって SVM 内の既存のグループが上書きされることはありません。

```
vs1::> vsserver services name-service unix-group load-from-uri -vsserver vs1  
-uri ftp://ftp.example.com/group -overwrite false
```

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。